

V 仕上げ工程

作業手順（作業名）	危険性又は有害性と発生のおそれのある災害
＜ショットブラスト＞	
ハンガーショット	前開きコンテナから製品をハンガーショットへかける時、山積み製の製品が崩れて製品が作業者に当り、打撲または挫創する。
	製品を掛けた時、吊り具が外れて落下した製品が足に落ち、打撲または挫創する。
	製品の掛け方がずれたため、吊り上げる時に製品が落下して足に落ち、打撲または挫創する。
	ステージ上に砂があったため滑って転び、打撲する。
ドラムショット	ショットドラムより搬出後、コンテナに入った製品をならしていたところ、製品が崩れて製品と製品の間指をはさみ挫創する。
	ショットドラムより搬出後、ドラム内に残った製品を手で取り出そうとしていたところ、転がってくる製品が手に当り、挫創する。
一般	ショット粒が散乱していたため、転んで打撲する。
	ローラーコンベアでコンテナを動かしている時、コンテナとコンテナの間に足を挟んで挫創する。
砂落し作業（ショット前）	ハンマーで砂落し作業中、加熱された砂が飛散して保護眼鏡のすき間から目に混入し、火傷する。
＜バリ取り・研削＞	
準備作業	一度に多くの製品をあけたため、容器から飛び出した製品が足に落ち、骨折（打撲、挫創）する。
	製品の入ったレベルマット（コンテナを傾けて製品を押し出す装置）を傾けた時、崩れた製品が手指に当り、あるいは手指を製品にはさまれ、挫創する。
ハンマーリング作業	バリをハンマーで叩いて取る時、取れたバリが飛んできて、顔にあたり裂傷を負う。
グラインダー作業	回転している砥石に斜め方向から製品を押し付けて研削していたところ、割れた砥石が飛散し、骨折、打撲、裂傷を負う。
	回転している砥石にうっかり指をあててしまったため、回転している砥石で指を磨り、裂傷を負う。
	砥石とワークレストの間隔が広すぎたため、砥石とワークレストの間に手指を巻き込まれ、挫創あるいは裂傷を負う。
	回転している砥石が製品から逸れたため、回転している砥石が手指に当り、裂傷を負う。
	保護眼鏡と顔の間にすき間があるため、切粉や砥石粉が目に入ります。
	製品を取ろうとしたところ手が滑り、足の上に製品を落として骨折（打撲・挫創）する。
	大物から小物に移る時、砥石とワークレストの間隔の調整を怠ったため、砥石とワークレストの間に手指を巻き込まれ、挫創あるいは裂傷を負う。
	押し湯部分が研削した後でも非常に熱かったため、押し湯部分を手で持った時、火傷する。
仕上げた製品をコンテナに入れる時、製品がコンテナから外れて転がり落ち、他の作業者に当り、打撲または挫創する。	
グラインダー作業（アングルグラインダー）	製品の置き方が不安定だったため、製品が作業台から足に落ち、骨折（打撲・挫創）する。
グラインダー作業（軸付き砥石）	製品の内側を研削する時、付着していた砂や切粉が舞い上がって砂等が目に入ります。